

# 空き家の活用案 その2

## 一週間店舗

# 目的

飛騨市の空き家を  
地域の交流の場として活用したい。

# 内容

- 飛騨市の企業様と高校生で協力し、土曜日曜の2日間や夏休みの間の短期間に空き家を活用した店舗を開く。
- 高校生と企業様で意見を交わしながら、協力して店舗を作り上げていく。

# 期間

現時点での想定は  
5月～夏休み前で  
店舗計画立案

夏休み期間に  
店舗準備、店舗営業を行う

# 運営

## ・ 高校生

YCK活動の一環として協力する形を想定。

宣伝、アイデア、店舗経営のサポートなど。

全体を通して参加 **2～4人**、うちリーダー1人、副1人

事前準備 **4～10人**

当日運営 **2～5人**

## ・ 大人の力

店舗の統括、その他高校生にできないこと。

# 大人の力

## 飛騨市の企業

- ・今よりももっと多くの人（高校生など）に知ってもらいたい。
- ・若い世代の視点でアイデアが知りたい。

## 飛騨市で商売を考えている方

- ・飛騨市のお客さんの雰囲気を知っておきたい。
- ・お店を開く前に宣伝しておきたい。

# 想定される影響

- 高校生や地域の方が知るきっかけになり  
お店に新しいお客さんが来るきっかけになる。
- 協力するうちに、高校性が企業のことを深く知ることがができる。
- 高校生から新しい視点の斬新なアイデアが生まれる  
可能性がある

# 予想される課題

- 費用面で企業の負担が大きくなる。
- 使用する空き家の確保、場所の設定をどうするのか。
- 高校生の都合で、夏休みや土日での開催になり、開催時期が限られる。